

絵本がつなぐ「ものづくり」と「文化」のまちの実現 ～子育てのやすさが定住を生む教育環境都市～

東京都板橋区（2022年度選定）

<h3>1. 地域の特徴と課題及び目標</h3>	<p>【特徴】産業：光学・印刷等産業集積・製造品出荷額等都区内2位 地域資源：特色ある文化芸術「絵本のまち“板橋”」</p> <p>【課題】①若い世代の定住化と地域経済の好循環・新たな価値の創造 ②支え合いながら自分らしく活躍できる社会 ③気候変動への対応・暮らしやすい安心・安全な環境</p>	<h3>2. 関連するゴール</h3> 
<h3>3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)</h3>	<p>「ものづくりのまち」「絵本のまち」のブランド力を高め、交流とにぎわい・子育てしやすい環境を創出することによって若い世代の定住化を促進するとともに、だれもがいつまでも元気に活躍し、学びと緑豊かな環境をトランスフォーム（変革）と継承し続けるまちを実現する。</p>	

4. 自治体SDGs推進等に向けた取組

【経済】○産業都市・絵本のまち“板橋”ブランディング強化
・板橋を代表する大規模イベントの魅力創造発信 など
○駅・商店街を中心としたコンパクトな拠点まちづくり
・東武東上線連続立体化と大山駅・上板橋駅拠点まちづくり など

【社会】○シニア世代活躍とフレイル・介護予防推進
・地域におけるフレイル予防・10の筋トレ展開 など
○切れ目のない子育て支援の充実
・子ども家庭総合支援センター開設による総合支援の充実 など

【環境】○ゼロカーボンシティ実現重点施策の推進
・施設のZEB化・100%再エネ電力・街灯のLED化・電気自動車導入推進 など
○魅力ある学校・公園等まちづくりの推進
・学校施設のLED化・UD・環境配慮・スマートスクール推進 など

6. 取組成果

①経済に係る取組の「ブランディング強化」は、4年ぶりに「いたばし花火大会」が開催されるなど、6大イベントすべてを実施した。また「コンパクトな拠点まちづくり」は、大山駅周辺地区「ピッコロ・スクエア地区」における市街地再開発事業が組合設立認可されるなど、KPI達成に向け推進している。

②社会に係る取組の「フレイル・介護予防」は、10の筋トレグループ新規立ち上げが進むなど着実に事業を実施している。また、「切れ目ない子育て支援」は「虐待通告受理後の対応における終結率が大幅増、保育園待機児童数は令和4年度に続き0となっており、目標値を達成している。

③環境に係る取組の「ゼロカーボンシティ実現」は、公共施設における再生可能エネルギー100%電力を計画的に導入するなど、着実に温室効果ガスの削減を進めている。また、「魅力ある学校・公園等まちづくり」では、学校施設のLED化・公園灯のLEDを推進し、計画どおり目標値を達成する見込みである。

5. 取組推進の工夫

SDGsを活用し、地域の強みを理解、さらには行動変容することで 自らの強みとして生かし、計画や経営・行動目標へローカライズする。その 取組を、様々な主体へ広げていき、経済・社会・環境へ貢献する持続的発展の好循環を「自分ごと」として学びながら実践していき、パートナーシップの好循環を生み出していく。

7. 今後の展開策

①本年度から運用開始する「板橋区SDGsプラットフォーム」で板橋区でSDGsに取り組む企業・団体などをネットワーク化、好事例の情報共有や参加者のマッチングを図り、課題解決、新たな価値の創出などの場を展開する。また、登録認証制度について他市町村の事例を参考に検討を重ねる。

②令和5年度に作成したSDGs学習教材「いたばしさんぽ」を様々な場面で活用する。

8. 他地域への展開状況（普及効果）

「いたばしさんぽ」の仕組みやデータ等をオープン化、各自治体等へ横展開し、地方創生の推進への寄与を図ることで、他地域でもそれぞれの地域の特徴を盛り込み、地域ごとのオリジナル教材として活用することができる。（令和6年8月末現在で2自治体から展開希望あり。ほか問合せ数件。）。